

平成30年度第3回淀川区区政会議

日 時：平成31年3月18日（月）

午後7時00分～午後8時22分

場 所：淀川区役所

5階会議室（502・503）

○久保政策企画課長

定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第3回淀川区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課長久保と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様には、ご多用中のところご出席いただきまして、まことにありがとうございます。また、後ほど、今回のやり方について説明をさせていただきます。

それと、マイクにつきましても、前回の部会と同様、マイクがあるとしゃべりにくいというお話もありましたので、このスペースということで、マイクなしという形でさせていただきます。ただし、体調が悪いなどで、マイクがあったほうがしゃべりやすいということがありましたら、申し出いただきましたらマイクをご用意させていただきます。よろしくお願いいたします。

それではまず初めに、開会に先立ちまして、区長山本より挨拶申し上げます。

○山本淀川区長

皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました区長の山本でございます。平素より大変お世話になっております。ありがとうございます。

本日、皆様方、大変お忙しい中、そして夜分お疲れのところ、区政会議第3回全体会議にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

区政会議につきましては、区政、区役所のいろんな行うべきことについて、区民の

皆さん方から直接お話を聞ける重要な機会だというふうに思っておりますけれども、これまでいろいろと課題があったことも事実でございます。

例えば、資料を事前に送っているんだから読んでくるのが基本だろうと、それなのに区役所のほうで書いてあることをまたもう一度棒読みするようでは時間の無駄だというようなご意見もいただきましたので、今回はまず、ご議論から入っていただけるようにしたいんですけれども。

一方で、なかなか事前に読む時間がないとか、やっぱり一応説明してもらったほうがありがたいとかいうご意見もありましたので、事前に自由参加というような形で、別途説明会をさせていただきました。多数の方にご参加いただきまして、ありがとうございました。

そしてこれも、区政会議というのは、本来、政策の立案段階、もう固まってからではなくて、どうしようかという段階から皆さんの意見を聞くというのが本来であって、その結果についてまたご意見を聞くというような会議のはずなんですけども。確かに、今までやってしまった後のことをどうでしたかというような形が多かったというのも、これも事実でございます。これも区役所がやったことを後から報告して、区民にちゃんと周知したという、いわばアリバイのためじゃないかというような厳しいご意見もいただいたところです。

今回も一応、区として、そしてまた皆さんも非常にそれは課題だと思われていると思うんですけども、防災に関連して、若手の方をどうやって引き込むかというようなことについてちょっとテーマを絞って、余りにも全体会議で議題が多過ぎて、なかなか議論がしにくいというようなこともありましたので、そういう点に絞りまして、それで、その中身につきまして、まだまだいろいろご意見を聞いてこれから変えていける事業でございますので、そういった点につきましてご意見を聞きたい。

そしてまた、この区政会議の進め方につきましても、全体会議、大きなところではちょっと威圧感がというような声とか、先ほど申しあげましたテーマが多過ぎたら議

論しにくいとか、部会はいろいろ意見が交換しやすいとかいうような意見もございまして、それをできるだけ取り入れたような形で今回やらせていただくんですけども。これにつきましても、後ほどのアンケートで皆様方の意見を聞いて、やっぱりもとの形のほうがいいなというようなこととかがありましたら、その辺はまた柔軟に対処してまいりたいと思っております。

それでは本日、皆様方、いつものように真摯なご議論をしていただきますことをよろしくお祈りを申し上げます、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日もよろしくお祈り申し上げます。

○久保政策企画課長

それでは早速ですが、まず、お手元の資料の確認から進めさせていただきます。

まず、区政会議の運営に関するアンケートを置かせていただいております。4問程度の質問をさせていただいておりますので、ご記入をまたよろしくお祈りします。

会議の最後に記載の時間を設けさせていただきますので、ご退室時に提出をよろしくお祈りします。先日開催しました部会や、本日の全体会議における幾つかの試行的な取り組みを踏まえ、委員の皆様のご意見をよろしくお祈りします。

続きまして、次第を1枚置かせていただいております、その次第の裏面に進行表をつけております。続きまして、資料の一覧、A4版1枚を片面につけております。続きまして、委員の皆様の名簿を表、裏面に座席表を添付させていただきます。続きまして、資料1「平成30年度淀川区政会議 第2回各部会開催状況」。資料1-1としまして、運営方針についての各意見、各部会でのご意見をまとめたもの。資料1-2、区政会議の運営についての各部会でのご意見をまとめたもの。それと資料6ですが「区政会議における2019年度（平成31年度）運営方針に関する意見への対応方針」をつけております。続きまして、区の広報誌「よどマガ! 3月号」、「YODO-REPO」第48号、それと、きょうご質問等できなかった場合につきまして、ご意見票を表裏印刷したものをつけております。資料2から資料5までにつきまして

は、事前にご自宅のほうに郵送させていただきました資料になります。いずれも右肩に資料番号を打たせていただいております。

不足のある方はおられませんでしょうか。もし不足がありましたら、事務局からお持ちさせていただきますので、挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。

本日は試行的に部会ごとに小グループでお座りいただいております。お手元の資料に区政会議委員名簿と座席表の表裏になっているものをつけておりますので、ご参照ください。

淀川区の区政会議は、地域団体推薦の18名と公募選定委員4名の合計22名の皆さんで構成されております。本日、田川地域の石田委員におかれましては、欠席の連絡を頂戴しております。また、新東三国の浅野委員と野中地域の米山委員のお2人におかれましては、到着が遅れておられるようでございます。

現在、区政会議委員、22名中19名に出席していただいておりますので、定数の2分の1以上の委員に出席を頂戴しておりますので、本会議が有効に開催されておりますことをご報告させていただきます。

続きまして、区役所の職員につきましても紹介は省略させていただきます。お手元の資料の座席表に職員名と役職をつけておりますので、ご参照ください。

先ほど申し上げましたが、区政会議の運営につきましても、先日開催させていただいていた部会並びに本日の全体会議で試行的に取り組んでいるところがございます。この配席につきましても、そのとおりでございます。本日の会議の最後に、区政会議の運営についてのアンケートを実施いたしますので、忌憚のないご意見をご記入いただけますようご協力よろしくをお願いいたします。

本日の終了時間ですけれども、午後8時30分をめぐりに終わってまいりたいと考えております。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

また、発言、説明の際には、できる限り簡潔にまとめていただきまして、たくさんの方に発言をいただけるように、スムーズな進行にご協力よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿いまして、3番「議題」に移らせていただきます。

ここからは、福岡議長、よろしくお願いいたします。

○福岡議長

それでは次第に即しまして、第3「議題」を進めさせていただきたいと思います。

本日は部会ごとの小グループで意見を交換し、最後に各グループの意見を共有したいと思います。区役所の職員の方も各グループに加わってもらい、本日の議題、運営方針の中から、防災の新規取り組みについて、意見交換、情報交換を19時40分までお願いしたいと思います。

そして19時40分になりましたら、各部会の議長さんから、意見交換で出た意見の紹介をお願いしたいと思います。グループで意見をまとめていただく必要はございませんので、どんな発言があったかを紹介していただきたいというふうに思います。

それでは、区役所の職員の方もグループに加わっていただき、意見交換を始めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(各グループにて意見交換)

●各グループ意見発表・全体意見交換

○福岡議長

それでは、よろしゅうございますか。

時間がまいりましたので、各グループでのご意見を共有したいと思います。発表は、各議長さんのほうでお願いしたいと思います。

まず、教育・子育て部会の内容を泉水議長からよろしくお願いいたします。

○泉水議長

こんばんは、泉水です。

子育てのほうでは、防災の新規取り組みについてお話したところ、まず防災LIN

Eのほうなんですけども、こちらのほうは、QRコードを利用した広報、チラシなんかにはQRコードを張りつけて広めていくという手法がいいんじゃないかという意見が出ました。

それと、高齢者の方にも使ってほしいということで、まずLINEの使い方を区役所の窓口とかで教えてもらえるとか、そういった仕組みも必要なのかなどの意見が出ました。

若い人を呼び込むにはということで、実際に被災地でボランティアをした人の話を聞いたり、実際に被災地に行ってみて見てもらい興味を持ってもらう、区の社協さんとかとちょっと連携して、そういった被災地にも行けるような取り組みができれば、関心も持ってもらえるのかと思います。

それと、防災訓練のテーマとして決めていってはどうかということで、年齢別とかで、実際に起こりそうな設定でやってみてはどうかということです。それと、避難者を助けるために中学生の力も必要、やはり若い中学生が一番地元にいるだろうというということで、そういった中学生の力をうまくつなげていけたらなという意見が出ました。

それと防災イベントに関してですけども、多くの人に、いつものメンバーでない人にも参加をしてほしいということと、学校などで説明してもらえれば、子どもの参加も見込めるということが出ました。

それと4月21日には淀川区PTAのほうで親子フェスティバルというのがありますので、そちらのほうで広報をしてはどうかという提案をさせていただきました。

あとは、実際に荷物を持って、避難袋のほうを詰めてみて運んでみる、避難してみようという、そういった体験もやってみてはどうかという意見がありました。

それと、地域でも防災イベントの縮小版、区役所のほうでやった分を、また地域ごとのテーマに沿って、地域の防災訓練等でできたらいいんじゃないかという意見が出ました。

それと、その中で同じやり方ではなく、クイズなど、別の内容で特色を持たせていてはどうかという意見も出ました。

以上です。

○福岡議長

ありがとうございます。続きまして、安全・安心なまち部会の内容を、泉議長よろしく願いいたします。

○泉議長

安全・安心なまち部会ということで、日頃から部会では、防災についてすごく話されていて、今回のことで、防災イベントがほとんど話の中心になったんですけども、1部、2部、3部とある中で、地域向けについては地活協におろしていくということと、あと各種地域の団体に呼びかけるとか、またそれぞれ地域の防災リーダーとかがいらっしゃるメンバー、防災リーダーの枠を入れながら、40歳未満の人をターゲットに集めていけばということ。学校についても、小学校とか中学校、小学校で申し込んで、抽せんをすればいいのではないかと。

実際、この脱出ゲームのことを藏本さんからお話を聞いたんですけども、300平米ぐらいの会議室等で、ポイント、ポイントでクイズに答えて、最後、宝まで到達するようなゲーム感覚であるので、そういう内容からすれば、多分人気があって、日頃、我々の地域では、例えば150人集めようといえど動員という言い方をするんです。そこまでしなくても、防災リーダーなり小学校の保護者なりに声をかければ、集まるんではないかというようなことでありました。

それと、18地域でそれぞれ8名ずつぐらいであれば、地域で選抜チームというような意味合いもあるので、防災訓練といいながらゲーム感覚と、これは競争で、各地域でやって、1番、2番となると皆が熱くなるのではないかという、私の今思った感じで書きました。

あと、この防災イベントについては、それぞれの地域での秋の防災訓練の参加にも

つなげるというようなことで書いております。イベントは、今まで聞いているように人気があるということで、すぐ人が集まるでしょうから、これがイベントだけではなくて、地域の訓練へつなげることが大切という話をされました。

また、地域の訓練にもアドバイスをしてほしいということで、そのイベントの内容では、地域の訓練のスキルが上がるのではないかなというような話がありました。

周知方法については、地域の掲示板などに貼るチラシを配布するとか、町会の中でそれぞれ回覧方式にするというようなこと。イベントの前に15分、20分ぐらい区役所からの説明もあるというところで、そこで実際に発災したときのリスクなんかも話しては、淀川区として、いろんな事象を報告したらどうかというような話もありました。

L I N Eについては、区民のアンケートで6割が使ってる、いろんな情報が入ってくるということで、これについても、呼びかけについてはこのイベントの中で、このL I N Eのことも紹介しながら、L I N Eのほうも促進を努めてはいいのではないかなということで、話があったところでございます。

以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

続きまして、コミュニティ力向上部会の内容を、西尾議長からよろしく願いいたします。

○西尾議長

コミュニティ力向上部会では、まずイベントにつきまして、8月4日は多分花火の明るく日だろうと思っててだめだなって言ってたんですけど、1週花火が遅いということで、この日は行けるんじゃないかと。ただ、一般の方たちは2回ですけど、地域が1回しかないの、地域向けが1回で8人じゃ、ちょっと少ないんじゃないかと思いまして、地域向けももう一回ぐらいやってもいいんじゃないかとか。あと40代ま

でぐらいという制限を先ほどお聞きしましたので、青指とか子ども会を中心に集めたらいいんじゃないかということをお伝えしました。

それから、いつも地活さんとか社協さんとか連合さんとかですと、もう来る人は絶対決まっていますので、それでは新しいイベントをする意味がないし、何かホームページで申し込むということもありますので、若い人がつかまるんじゃないかなというのを思いました。

ただ、地域向けが防災リーダーを中心にとということだと、防災リーダーじゃない人は行けないのかって思いますし、防災リーダーも8人以上、うちなんかも新規さんがいますので、それだったら、私たちもやっぱり見たいなというのがありますので、もう一回ぐらいやっていただいたら、防災リーダーさんの中でも何人か、またどっかの団体で何人かという感じで、出てこれるんじゃないかと思いました。

それからあと、広報は6月号の1回だけしかされないもので、それよりもっと前に、毎月、毎月よどマガ！に出すとか、ポスターなんかだと、駅とかに周知するなんていうのも使ったら、もっと人が集まるんじゃないかというお話をしました。

それからあと、LINEのほうですけど、警報から発信されるということをお聞きしました。一方通行ですので、こちらからの情報は防災本部に無線でお伝えしたものが、またこちらのLINEのほうに流れてくるということをお聞きしました。

あと、私が思ったんですけど、よくLINEの友達を追加したらスタンプのプレゼントをもらえますよね。それに夢ちゃんスタンプを押したら、人がいっぱい集まるんじゃないかと思いました。それは幾らスタンプだけが欲しいからってやめる人もいるかもしれないですけど、結構集まるんじゃないかなって思いました。

それで、いろんなところが本当にコマーシャルをどんどん送ってくるのがわずらわしいんですけど、それがなくて、本当のお知らせしか来ないということをお知らせすることで、皆さんがブロックしたり、そういうことはなくなるんじゃないかというお話もされていました。

あと、区に特化したものしかされないということで、大阪市のいろんなことのまた情報が来るんですかということを知られてまして、それには区のことしか今回の場合は入らないということで、安心されておりました。

あとはよどマガ！などで周知をして、企業などにお勤めの方とか学生さんとか、淀川区に来られてる方たちにも、そのLINEに入ってもらいたいのので、よどマガ！ですぐとりやすいようなQRコードをつけるとかをしたら、もっと増えるんじゃないかなと思います。

以上です。

○福岡議長

ありがとうございます。

以上、3人の議長からご報告がございました。部会の他の委員、あるいは他の部会の方でも結構でございます。補足することがございましたらお願いをしたいと思っておりますけれどもいかがでございましょうか。補足することはございませんでしょうか。

●議題「運営方針について」

○福岡議長

それでは、次の議題に進ませていただきたいと思います。先日開催をいたしました各部会でも出ました運営方針に関する意見を、各部会の議長さんより報告をしていただきたいと思います。

まず、教育・子育て部会の内容を、泉水議長さん、よろしくお願いをいたします。

○泉水議長

座って失礼します。

報告させていただきます。平成30年度第2回淀川区政会議教育・子育て部会議長報告ということで、教育・子育て部会を代表しまして報告いたします。

お手元の資料1「平成30年度淀川区区政会議 第2回各部会開催状況」をご覧ください

ださい。

当部会では、1月29日に開催し、委員7名全員が出席いたしました。2つの議題、運営方針についてと、区政会議の運営について、意見交換を行いました。そこでは運営方針について、各委員から寄せられた主なご意見や質疑について紹介をします。

資料1-1の1ページをご覧ください。まず子育て支援について、意見交換を行いました。

区役所の子育て支援担当から、委員の意見を聞きたいという話がありました。内容は、子育て支援室では、毎日のように児童虐待の疑いのあるケースに対応しています。児童虐待が多い要因として、子育てについて相談できる人がおらず、孤独を感じるなど、何らかのフォローを必要とされてる保護者が多いと感じています。地域において、こうした保護者に対する取り組み事例や、こうしたらどうなのかなどのご意見をお聞かせくださいという話に対しまして、委員からは、子育てをされている当事者を助けながら、同時に周りの人の意識を変えていくような取り組みをすれば、少しは虐待が減るのではないかという意見が出ました。

また、ほかの委員からは、幼児教育の無償化に伴い、保育士さんの負担が増えるのではないかと心配の意見がありました。これに対して区役所からは、幼児教育の無償化が進めば、負担が軽くなることにより、保育所入所を考える方が増加し、待機児童問題がより深刻になるかもしれないと懸念しています。また、保育士の人材確保も問題になっております。保育士確保の取り組みの1つとして、講習を受けていただき、保育士に準ずるような資格を得ることができる制度もあるということでした。

続いて、学校教育支援について、意見交換を行いました。

図書ボランティアさんをされている委員さんが多く、学校では、子どもたちに少しでも本に親んでもらうための方法を幾つか紹介いただきました。図書室がかなり離れているため、本を入れた小さな箱を廊下に置いたところ、休み時間に子どもたちが読んでくれているようだ。また、子どもたちが本を手にとりやすいように、職員室前

や玄関に本を並べているなどの事例に、ほかの委員から、早速学校に申し出て取り入れてみたいとのご意見もありました。

また、声を出して本を読むことが大切で、学校でも5分でもいいので全員で声を出し音読するといいいと思うとの意見がありました。

区役所の学校教育支援担当から、委員の意見を聞きたいという話がありました。

内容は、ヨドネルも引き続き取り組んでいきますが、来年度は、子どもたちに加えて、保護者や子どもたちを取り巻く大人にも働きかけたいと考えています。ヨドネルの取り組みについて、ご意見をお聞かせくださいというものでした。

委員からは、睡眠時間を削ってでもゲームやLINEのためにスマホを見続けている子どもたちが多いため、ルールを決めたり、使い方の講習会が必要だとの意見があり、区役所から、文部科学省のスマホの使い方の冊子を、学校からの要望にお応えして渡しています。また、学校から要望があれば講習会も開催しているので、さらに力を入れていきたいとの回答がありました。

その他のご意見、回答については、ご一読いただければと存じます。

以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございます。

続きまして、安全・安心なまち部会の内容につきまして、泉議長さん、よろしくお願いたします。

○泉議長

それでは安全・安心なまち部会を代表して報告いたします。お手元の資料1の「平成30年度淀川区区政会議 第2回各部会開催状況」をご覧ください。

当部会は2月4日に開催し、委員8名中7名が出席いたしました。先ほどの部会と同じように、2つの議題、運営方針についてと区政会議の運営について、意見交換を行いました。ここでは運営方針について、各委員から寄せられました主なご意見や質

疑についてご紹介いたします。

資料1-1の5ページをご覧ください。まず防災対策について、意見交換を行いました。

先ほどの防災アトラクションについて、ちょっと内容が重複しますけども、5ページのところにも書いてますように、区役所において、体験型の防災アトラクションを開催するというので、自然災害が多発してる中で、生死の分かれ目となる瞬間に、瞬時の判断で被害に遭わないための行動ができるような体験というようなことをお聞きしております。ここでは、内容については割愛させていただきます。

7ページをご覧ください。地域福祉の推進について、出された意見を紹介いたします。

委員から、運営方針の具体的取り組み1-3-1で、地域における見守り支援体制について、現在、要援護者名簿は各町会が持っていますが、町会長は避難所を開設しないといけないということもあって、要援護者への対応は、別のスタッフが手分けして確認するのも一つの方法だとの意見もありました。

また他の委員から、要援護者名簿の取り扱いについて、ある地域のほうは、私の地域でもワークショップを開催して、名簿に載っていない支援が必要な方がおられないか情報交換し、名簿に追加していますということや、また、他の地域では、区の社会福祉協議会に依頼して作成した要援護者のシールを、毎年要援護者宅にお持ちして、家のわかるところの場所に張って、自分が要援護者であるというのがわかるようにしていただいているというような、地域の事例も紹介がありました。

その他ご意見、感想につきましては、ご一読いただければと存じます。また、資料6に、事前質問に対する対応方針がございますので、あわせてご覧ください。

以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございます。

続きまして、コミュニティ力向上部会の内容を、西尾議長さん、よろしくお願いをいたします。

○西尾部会長

コミュニティ力向上部会は1月21日に、委員7名のうちの6名が出席しまして、開催いたしました。

お手元の資料1-1の9ページをごらんください。皆さんと同じように、運営方針などについてお話をしました。

まずうちでは、地域カルテということについてご質問がありました。地域カルテの基本的な中身のイメージを教えてくださいということで、それに対して区役所のほうから、いろいろな地域の状況を鑑みてまた作るということをおっしゃってました。

それで今回、3月7日の地域フォーラムのときに、地活協の会長さんたちにお渡しされました。それを見て、地域で違うところがいろいろあれば見つければいいんじゃないかなって、変えていけばいいんじゃないかなということをおっしゃってました。

そして、今までカルテだったのが、今回ノートという形に変えてきていますが、それは地域で変えていいそうなので、それはまたいけるかなと思いました。

それから課題を抽出して、どういう支援を行っていただけるのかを考えて、こんなことをしていただきたいとかいうのをお願いしたら、区役所ではどうしていただけますかという質問をされました。地域の意見を参考にこちらも協議しまして、また皆さんにお伝えするというをおっしゃってました。

それから、あと運営方針などですが、地域が来て、地活協ができて、お金の流れが各ブロックに1つになったので、とてもいいことだと思います、以前は重複してる部分が多くありましたが、今はすごくきれいだと思いますということをおっしゃってました。

今のところ、今度の案件の分はこれだけの意見が、大体あとは中身を見ていただければわかるのですが、カルテのことばかりで、今回カルテが7日の日に変わりました

ので、ちょっとこの意見が余り合わないのかなと思いましたので、残りは一読いただければと思います。

○福岡議長

ありがとうございます。

今、ご3人の議長さんからご報告がございましたけれども、他の委員さんの補足、あるいは他の部会の皆様のご意見、あるいは質問でもいいですから、ありましたらよろしくお願いをしたいと思います。何かここを聞いておきたい、聞き直しておきたいとかいうことはございませんでしょうか。

○板谷委員

じゃ、よろしいですか。

○福岡議長

どうぞ。

○板谷委員

カルテが地域ノートに変わったわけですけど、仮とは書いてありますけど、方針とか、そういうところで書いてある文章もカルテという言葉が消えて、ノートに変わるわけですか、変わってるんですか。

○新井市民協働課長

この部会が起こった、これは1月21日時点での議事録なので、その当時はカルテだったんですけど、ネーミングがカルテだったら何か治療してくれるのかとか、皆さんからネーミングについてご意見があったので、一応地域の記録みたいな感じでデータもありましたので、地域ノートという仮称をつけさせていただきまして、もしも地域ノートというのがまた何か不都合だと思うのであれば、地域でお名前を変えてもらってもいいですけど、大阪市では一般的に地域カルテと言っているんですけど、淀川区では地域ノートという形で、一旦皆さんにお示しさせていただきました。

○板谷委員

ノートとカルテが変わっても、書いてある趣旨は一緒なんですか。

○新井市民協働課長

一緒です。もともとの地域のデータとか、皆様とブロック会議で話し合ったスポットとか強み、弱みみたいなところを一旦基本のデータとして分析させていただいて、各役員様もお名前を載せさせていただいております。今後も、更新していったらいいかなと思っております。

○板谷委員

要はこれをベースに、課題を抽出するという考え方は変わっていないということでよろしいですか。

○新井市民協働課長

それは、一緒でございます。

○板谷委員

はい、わかりました。

●議題「区政会議の運営について」

○福岡議長

ありがとうございます。その他、何かご意見ございますでしょうか。

ないようでございますので、その次の議題（２）のほうに移らせていただきます。区政会議の運営につきましてですが、先日開催をしていただきました各部会で出ました意見を、各部会の議長さんより報告をいただきたいと思っております。

最初に、教育・子育て部会の内容を、泉水議長からよろしく願いをいたします。

○泉水議長

座って失礼します。

先日開催されました部会における議題、区政会議の運営についてで出された委員の意見を、教育・子育て部会を代表しまして報告いたします。

お手元の資料1-2の1ページをごらんください。全体会議では、議題の対象が過ぎて何に意見してるかわからない。具体的にこの部分についてどう思いますかと聞かれたほうが意見を言いやすいとの意見がありました。

配席については、小グループ毎の配席を希望する意見が多くありました。その理由として、全体会議で質疑応答がされているときにどこの話をしているかわからないときがあるが、口の字型だとなかなか手を挙げて質問をするほどのことでもなく、わからないまま終わってしまっている。小グループの配席だと、周りの人に聞きやすいとの意見が出ました。最初はなれてる部会ごとのグループで集まり、なれてきたらシャッフルして、いろんな人の意見を聞いてみたいとの意見もありました。

以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございます。

続きまして、安全・安心なまち部会の内容を、泉議長、よろしく願いいたします。

○泉議長

それでは、区政会議の運営について、安全・安心なまち部会の委員の意見を代表して報告いたします。

お手元の資料1-2の2ページをご覧ください。全体会議についての意見で、威圧感があり話しにくいとか、小グループのほうが、もっと部会に親しみを持って自由な意見が出るように思っております。また、人数が多いので、全体会議は部会に比べて発言がしにくいとの意見がありました。

また、説明会については、運営方針の概要版がすごくわかりやすいので、説明会は要らないとの意見がある一方で、前回の全体会議でのプロジェクターを使用した説明はすごくよかったので続けてほしいというような意見もございました。

また、資料についてでございますが、事前に送付された資料に読んでメモをすることが言えなくなってしまうので、事前送付された資料と当日配布の資料の内容が違

つてると困るというような意見もありました。

以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございます。

続きまして、コミュニティ力向上部会の内容を、西尾議長、よろしく願いをいたします。

○西尾議長

それでは区政会議の運営について、コミュニティ力向上部会を代表して報告いたします。1－2の3ページをご覧ください。

全体会の座り方にはこだわらないが、今回は防災をテーマにするとか、今回はコミュニティ力向上をめざすとか、そういうテーマを決めて会議をしていただきたいという意見がありました。

そして、部会はこのまま続けたほうがいいんじゃないかという意見もありました。

あと、勉強会をやるのはいいということで、個々の委員が区役所の区政を勉強するのはいいことだと思う。コミュニティ力向上部会はずごく幅が広く、コミュニティは全てにおいてかぶってくるので、ネタは尽きないので、勉強はしなきゃいけないということも出ていました。

また、この区政会議を地域に持って帰って報告できるような会議ではないという話もありましたし、ちょっと区役所さんには嫌かもわかりませんが、1つ聞いていただきたいところが、区役所さんが決めたことを私たちが聞いて、それを、こんなことをしますよという証人にするための区政会議かということをおっしゃっていました。

皆さん、いろんなことを考えていまして、マイクを持って全体会でお話するのもできない方もいらっしゃると思いますが、それはそれで、さっきの方と同じ意見だということと言わない方もおられるかもわかりませんし、誰かが、いつもあの方はしゃべらないとかいうことを考えるのもちょっとどうかなという話も出ていました。

あとは、皆さんご自身の資料をご一読いただければと思います。

以上です。

○福岡議長

ありがとうございます。

以上、3人の議長からのご報告につきまして、部会の他の委員の補足はございませんでしょうか。また、他の部会の皆さんからもご意見がございましたらよろしく願いをいたします。質問事項でも結構でございます。

ご意見がないようでございますので、本日の議題は以上でございます。

時間がまいりましたので、これで進行を事務局のほうに返させていただきたいと思っております。よろしく願いをいたします。

○久保政策企画課長

福岡議長、どうも議事進行ありがとうございました。

会議の冒頭、本会の成立を報告させていただきましたが、新東三国の浅野委員もお越しいただきましたので、委員22名中20名の出席を今回頂戴しておりますので、有効に成立しているということを再度報告させていただきます。

また市会議員の方におかれましては、忙しいところご臨席いただきましてありがとうございます。

先ほどの部会での議長報告にもありましたが、全体会議でより活発に議論を行うためにはどうしたらいいかという点につきまして、運営方針全体についての議論となるとテーマが広過ぎるんじゃないかというような点が、3部会どの部会からも頂戴した意見でございます。そこで本日は、区役所として課題認識している具体的なテーマ、防災についてということで、議題を設定させていただいたところでございます。皆様方からさまざまなご意見を頂戴できたというふう実感しております。今後も議題として各分野における具体的なテーマを設定して、ご意見をいただいてまいりたいというふう考えております。

また、本日試行的に実施しました6時半からの事前説明会であるとか、あとグループごとの配席であるとか意見交換についてもそうですが、会議のやり方につきまして、今後皆様のご意見を頂戴しながら、工夫を重ねていきたいと考えております。

せっかく貴重なお時間を頂戴して区役所に集まっていますので、22名の方に、できる限りたくさんの方々に、来てよかったなというふうに思っていたきたいと考えております。より活発な議論をして、区役所もその意見を、予算等が伴う場合もありますけども、できる限りの意見を反映していきたいと考えておりますので、今後もこの区政会議の運営の仕方については、より柔軟な形で改善を重ねていきたいと考えております。

そのために、本日配付しておりますアンケートについても、その取り組みの資料という形でさせていただきたいと考えております。4問の簡単な内容を設問させていただいておりますので、大変お手数ではございますが、この場でご記入いただきまして、会議終了後、ご退席のときにご提出をいただければと考えておりますので、ご記入方よろしくお願いいたしますと考えております。

なお、次回の区政会議につきましては、部会を6月に予定しております。また、担当を通じまして、日程につきましては、今後調整をさせていただきたいと考えておりますので、出席方またよろしくお願いいたしますと考えております。

なお、本日の会議で、時間の関係で発言ができなかったこと、ご意見、ご質問、何でも結構でございますので、ご意見票を席に置いておりますので、3月25日までに事務局までお返しいただければ幸いです。ファクス等でも結構です。返信用の封筒も用意しておりますので、出口でお申し出いただければ、お渡しさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは時間も参っておりますので、これをもちまして、平成30年度第3回淀川区政会議を終了したいと存じます。

繰り返しになりますが、アンケートのほうは、お帰りの際に、出口で担当にお渡し

いただければと考えていますので、ご協力よろしく申し上げます。

本日は長時間にわたりまして、貴重な議論等を頂戴しまして大変ありがとうございました。これをもちまして、終了させていただきます。ありがとうございました。

—了—